

講義名	金融特論				授業形態	
担当教員	森澤 龍也	開講期・曜日・時限		後期 火曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生	ナンバリング・コード
主題と概要						
金融論について、その根底にある基礎的な理論・考え方から応用問題まで積み上げるように学ぶ。特に日本の金融事情に関連付けて講義する。また、数式展開を要する箇所については、その裏側にある経済学的な意味づけに注意しながら考察をすすめる。						
到達目標						
(1) 金融論の基礎理論から応用問題まで体系的に学び、理解することができるようになる。 (2) 日本の金融事情に関する問題を分析することができるようになる。						
提出課題						
講義中課題・レポート課題を予定している。						
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法						
実施した課題に関して適時、講評・解説を行う時間を設ける。						
評価の基準						
報告・討論参加： 50％ 講義中課題・レポート課題： 50％						
履修にあたっての注意・助言他						
毎回、教科書を持参して、講義に参加すること。 教科書を持参していない場合は出席回数に算入しない。 遅刻・欠席は減点の対象である。 電卓を使用する場合があるので、用意しておくこと（携帯電話による代用は不可）。						
教科書						
『レクチャー&エクササイズ金融論』		森澤龍也		新世社	2200	9784883842223
参考図書						

その他		
必要に応じて、担当者作成の講義レジュメおよび参考資料を配布する。参考文献については講義中に適時、紹介する。		
授業計画		
1. 金融取引とは 予習：開講までに指定された教科書を通読し、全体の内容を把握しておく。（4時間）		
2. 日本の資金循環 予習：教科書該当範囲を熟読し、輪講・討論・発表のための要点をまとめておく。（2時間） 復習：教科書の再読、講義ノート・討論内容の整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
3. 貨幣と利子 予習：教科書該当範囲を熟読し、輪講・討論・発表のための要点をまとめておく。（2時間） 復習：教科書の再読、講義ノート・討論内容の整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間） 予習：教科書該当範囲を熟読し、輪講・討論・発表のための要点をまとめておく。（2時間） 復習：教科書の再読、講義ノート・討論内容の整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
4. 金利計算の基礎 予習：教科書該当範囲を熟読し、輪講・討論・発表のための要点をまとめておく。（2時間） 復習：教科書の再読、講義ノート・討論内容の整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
5. 割引現在価値の考え方と資産価格の決定 予習：教科書該当範囲を熟読し、輪講・討論・発表のための要点をまとめておく。（2時間） 復習：教科書の再読、講義ノート・討論内容の整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
7. 金融市場と金融機関 予習：教科書該当範囲を熟読し、輪講・討論・発表のための要点をまとめておく。（2時間） 復習：教科書の再読、講義ノート・討論内容の整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
8. 金融機関と金融組織 予習：教科書該当範囲を熟読し、輪講・討論・発表のための要点をまとめておく。（2時間） 復習：教科書の再読、講義ノート・討論内容の整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
9. 直接金融と間接金融 予習：教科書該当範囲を熟読し、輪講・討論・発表のための要点をまとめておく。（2時間） 復習：教科書の再読、講義ノート・討論内容の整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
10. 日本経済と金融システム 予習：教科書該当範囲を熟読し、輪講・討論・発表のための要点をまとめておく。（2時間） 復習：教科書の再読、講義ノート・討論内容の整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
11. 市場型間接金融 予習：教科書該当範囲を熟読し、輪講・討論・発表のための要点をまとめておく。（2時間） 復習：教科書の再読、講義ノート・討論内容の整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
12. 金融取引と情報の非対称性 予習：教科書該当範囲を熟読し、輪講・討論・発表のための要点をまとめておく。（2時間） 復習：教科書の再読、講義ノート・討論内容の整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
13. 銀行の役割 予習：教科書該当範囲を熟読し、輪講・討論・発表のための要点をまとめておく。（2時間） 復習：教科書の再読、講義ノート・討論内容の整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
14. 日本の金融政策 予習：教科書該当範囲を熟読し、輪講・討論・発表のための要点をまとめておく。（2時間） 復習：教科書の再読、講義ノート・討論内容の整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
15. 日本の金融政策 予習：教科書該当範囲を熟読し、輪講・討論・発表のための要点をまとめておく。（2時間） 復習：教科書の再読、講義ノート・討論内容の整理に取り組み、講義内容の理解を深める。（2時間）		
授業形態（アクティブ・ラーニング）		
	ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
☐	ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
☐	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A/L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連		
DP（1）-1との関連性：目標を達成することでDPに貢献できる。 DP（1）-2との関連性：金融論・ファイナンス論は流通科学分野の本流科目ではないが、所定の目標を達成することでDPの「高度専門職業人として、より実践的・課題解決的な能力を身につける」ことに貢献できる。 DP（1）-3との関連性：金融論・ファイナンス論は流通科学分野の本流科目ではないが、所定の目標を達成することでDPの「専門的な研究を行い、修士論文あるいは課題研究の成果を完成させる」ことに貢献できる。		
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述		
輪講・討論によって講義を進める予定である。毎回、教科書の該当箇所をよく予習して講義に臨む必要がある。レスポンスを使用する予定である。		
実務経験の有無及び活用		
実務経験なし		
備考		
一定の経済数学の知識（微分、テイラー展開、等比数列など）を習得していることが望ましい。 毎回の予習・復習が欠かせないことを肝に銘じて受講されたい。		